



安全運転をお願いします! 「特別啓発運動」

令和3年

6月号

広報 

No.250

いしし富士

令和3年度 町執行方針

悠なる故郷 利尻富士町



令和三年利尻富士町議会定例会三月会議の開会にあたり、町政執行に臨む私の所信と施策の基本的な方針を申し上げます。

昨年は、一月に日本国内において新型コロナウイルスの感染者が発表され、道内では、さっぽろ雪まつり会場で多くの来場者の往来によって感染拡大がみられたことで、北海道知事が独自の緊急事態宣言を発表し、三週間後には収束し解除されましたが、四月に入って再び感染が拡大し、全国各地でも感染の大きな波が起き、政府は全都道府県に緊急事態宣言を発令しました。多くの尊い命が失われ、社会経済に甚大な影響が及んでおり、今もなお終息が見えてこない感染症ですが、「三密対策」や「新しい生活様式」を実践する

ことで新規感染者は減りつつあるものの、油断は許されないものと思っており、町民皆様方にも我慢を強いられるところがあります。

一方、九月三十日には、利尻島内で初めて利尻郡各村戸長役場が設置され、自治行政が始まった一八八〇年、明治十三年を起源として利尻富士町開町百四十年・町名変更三十年記念式典を挙行し、規模を大幅に縮小しての開催となりましたが、利尻富士町が未来に向け、希望に満ち溢れた理想郷建設に邁進することを皆様にお誓いすることができました。

私が町民皆様方から激励を受け、町長に就任してから二期八年を迎えましたが、基本的な考えを変えずに申し上げているとおり、五つの政策方針を充実させるため、今議会に関連する令和二年度各会計補正予算、令和三年度各会計予算を編成し、各条例や規約の一部改正などを提案しておりますが、「利尻富士町まちづくり創造総合計画」の指針に則り、就任当初から掲げている「町民がお互い支えながら暮らす」ことが実現できるよう、一層気持ち強く、様々なまちの課題に全力を傾注して町政を執行してまいりますので、議員各位並びに町民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。



一・関係機関との協力による 基幹産業の促進

始めに、本町の基幹産業である水産業の状況についてですが、昨年の利尻漁協における町内の漁業生産額は、計画していた十六億四千七百万円を二億六千万円下回る十四億四千百万円となりました。

昨年は漁船漁業の不振に加え、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う食品産業への影響や需要の減少・魚価安など、漁業者にとっては厳しい一年でありました。

水産業を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、コロナ禍を乗り越え、新たな時代を切り拓いていくためには、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、将来を担う若者にとって漁業を魅力ある産業としていくことが重要であると考えています。

新年度における水産振興の取り組みでございますが、まずは担い手対策では、新たに三名の漁業後継者に対し磯船を贈呈する予定となっております。

また、去る二月二十七日に札幌市で行われた北海道漁業就業支援フェアに鬼脇地区の三名の研修生受入希望漁家が参加しており、新たに研修生の受入が決まった際には支援を行うとともに、特に問題となっている住宅の確保については漁業協同組合や地域とも連携し、課題解決に向け取り組んでいきたいと考えております。

北海道が行う水産関連事業についてですが、水産基盤整備事業では鬼脇南部魚礁設置工事を継続実施することになっております。また、漁港関係では雄志志内漁港の機能保全事業を、海岸関係では雄志志内海岸の津波・高潮危機管理対策緊急事業による護岸整備を継続して実施し、海岸域における防災機能と静穏域の形成による「海を育む海岸づくり事業」として、離岸堤設置や増養殖場の造成などについては、各関係機関へ強く要望しているところでもあります。

港湾関係では、国直轄事業として駕泊港鬼脇港区の南防波堤改良工事の継続実施のほか、内港のマイナス二・〇m物揚場の改良工事が新規事業として実施されることとなりましたので、漁業者と調整し円滑な事業実施に努めてまいります。

次に観光業についてですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、極めて深刻な打撃を受けております。

令和二年度上期における観光客の入込数は三万二千四百人で前年同期比七十三％の減少、宿泊客延数は三万八百人で五十五％の減少という数字が示すように、観光産業全体が事業の継続と雇用の維持という大きな課題を抱えておりますので、今後も全国的な感染状況を見極めつつ、国の「GOTOトラベル事業」や北海道の「どうみん割事業」など、関係機関と連携を図りなが

ら感染予防対策と経済対策を両立した支援に取り組んでまいります。

令和三年度におきましては、プレミアム観光商品券事業の実施や滞在観光事業の取り組みを柱として、観光客等旅行者の需要に見合う取り組みを推進するとともに、観光協会の運営や取り組みに対する支援、温泉施設の維持保全を目的とした基礎調査の実施や温泉水配湯車両の更新などの取り組みを進めてまいります。

また、アクティビティ、自然とのふれあい、異文化体験などの複数要素を含む旅行形態を「アドベンチャー・トラベル」といい、世界的に市場規模が年々拡大しておりますが、その世界最大規模の商談会となる「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット（ATWS）」が、今年九月に札幌市に於いてアジア圏で初めて開催される予定となっており、そのサミット前に行われる事前体験コースに、本町の「日本最北のシーカヤックツアー」の採択が決定されておりますので、町としても数年先の訪日旅行の可能性を見据えて、受入環境の整備を推進してまいります。

この他、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、町内観光事業者のサイクルツーリズムに特化した事業拡大を図ることにより、新たな雇用の創出に取り組み、コロナ禍における町内の雇用の状況についても注視してまいります。

また、商工業についてですが、地域経済の発展には商工業の振興、活性化が必要不可欠であります。商工会の運営に対する支援や地域振興券事業（プレミアム商品券事業）を継続実施するなど、町内商工業者の事業継続のための取り組みを推進してまいります。

一、離島住民の利便性向上と生活基盤の改善

有人国境離島特別措置法により、フェリー運賃についてはJR在来線並み、航空運賃については新幹線並みと本土と変わらないよう、引き続き離島運賃割引を実施するとともに、同じく有人国境離島特別措置法及び離島振興法により、水産物や水等の輸送コストの軽減についても引き続き支援してまいります。

また、漁業者・漁協・行政が一体となり、離島漁業再生支援交付金を活用し、漁業の再生に向けた漁場の改善と種苗放流の取り組み、事業状況を把握するための追跡調査、水産物の需要拡大を図るPR事業等により、生産力向上の好循環を生み出していけるよう各種対策を支援していく所存であり、国が直接販売業者に支援する離島ガソリン流通コスト支援事業についても同様に実施され、航空路線運賃につきましても運賃の低廉化のほか、日本航空（JAL）・全日空（ANA）とも、お客様様のより良い利便性と負担軽減を図る

ため、従来より行っており、離島住民割引制度等の助成についても継続してまいります。

通年運航のJAL便（利尻―丘珠間）は、昨年同様、春のゴールデンウィーク及び、お盆期間の増便につきましても運航する予定であり、海の日及びスポーツの日を含む七月二十二日から二十五日までの四日間と、九月十八日土曜日と二十日敬老の日においても増便を予定しておりますので、運航時間など決定次第周知いたします。また、五月六日より全便四十八人乗りの新型機種ATR機による運航予定となっておりますので、お客様に提供できる座席数が増えることとなり期待をしているところであります。

季節運航となっているANA便（利尻―千歳間）は、昨年六月一日から十五日までの間、コロナ禍による需要の減少により減便を余儀なくされましたが、本年については六月から九月までの四ヵ月間、現在のところ運航される予定となっております。今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要不可欠な生活路線でありますので運航事業者に赴き、航空路線の維持・存続を図ってまいります。

町道の維持整備等につきましては、鴛泊市街中央線（バイパス）、鴛泊市街三号線の改良工事と、姫沼線の道路付帯施設の修繕工事等を実施し、交通安全対策として、港町の道道とバイパス交差点の町道側に一時停止標識と看

板を設置してありますが、一時停止線を赤色に表示し安全な通行の確保と、冬期間の道路維持については町民の方々のご理解・ご協力をいただきながら効果的な除排雪に努めてまいります。

道道の関係ですが、事業実施している旭浜地区は国勢橋と旭浜橋が今年度で完成となり、その橋梁間の約七十mの道路本体工事と、野中・石崎地区の橋梁改修、野塚地区の落石対策調査等が実施される予定となっておりますので、住民が安心して通行できるよう維持管理等を行っていただき、狭隘な地区の道路整備の促進につきましても関係機関と協議し要望してまいります。

公営住宅の整備につきましては、長寿化計画に基づき快適な住環境整備を推進するため、今年度は第二舟見ヶ丘団地（鬼脇地区）一棟四戸と本泊団地二棟四戸の個別改善工事の予算を計上しております。

まちづくり関係では、鴛泊市街地まちづくり協議会、鴛泊市街地整備促進期成会の皆様方の意見を聞き策定しました「鴛泊市街地並み環境整備方針」を具体化し、事業化するための調整会議を開催して施設整備に向けた取り組みを行います。

水道事業につきましては、住民の日常生活を維持し、経済活動を支える重要なライフラインであり、安全安心な水を安定的に供給することを責務とし、水質及び水道施設の維持管理に努め、下水道事業についても供用開始から鴛

泊地区で十八年、鬼脇地区で十三年経過し劣化等が見られることから、本年度も引き続き両浄化センター運転操作に係る機器更新事業を実施し、施設の適正な維持管理を行い安定した水処理を行うてまいります。

以上のとおり、離島地域で生活している住民が、地理的特殊事情からくる制約条件を本土と等しくなるよう改善し、交通体系の整備や産業の振興、生活環境の整備など、総合的な住環境整備を国や北海道に対して実情を訴え、講ずるべき対策等を協議していただき、地域住民の生活基盤の改善を図ってまいります。

三. 町民の生命・財産を守る 防災機能の強化

二〇一一年に発生した東日本大震災から早や十年が経過しようとしておりますが、先月十三日にもその余震と思われる福島県沖を震源とする最大震度六弱の地震が発生しており、また本町でも昨年八月七日に五十年に一度の大雨を記録するなど、道内・道外に関わらず本町に対する大規模自然災害リスクが高まっていることから、国の国土強靱化計画に基づいた「利尻富士町地域強靱化計画」をこの三月に策定しており、「利尻富士町地域防災計画」との連携を図りながら町民の生命・財産を守り、本町の持続的な成長の実現に向け取り組んでまいります。

また、大雨等による土砂災害の危険性の覚知については、関係機関との連携を密に迅速な住民対応にあたることも、本年は北海道総合防災訓練と連動した避難所運営訓練の実施を予定しており、万が一の災害発生による避難所運営にあたりましては、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期してまいります。

消防関係では、平成元年に配備してから三十一年経過し、経年劣化により老朽化した小型ポンプ付き水槽車を、災害時対応特殊小型動力ポンプ付き水槽車に更新し、火災対応の強化充実を図るとともに救急業務につきましても救急隊員の専門知識や技術習得に努め、救急救命士八名体制を維持し救急業務体制を充実させます。

また、消防学校専科救助課程と専科火災調査課程に各一名、昨年採用した職員と四月に採用予定の職員を初任教育課程へ入校させ知識・技術の向上を図り、さらには職員一名に大型自動車運転免許を取得させ消防力強化に努めてまいります。

治山・砂防対策として、昨年の大雨で被災した鯉泊無名川下流の流路改修と、人家裏等へ出水した五地区八ヶ所について上流域の状況調査を実施し、今後の流水対策の基礎資料を町で作成いたします。

砂防事業を実施しております稚内建設管理部では、令和二年度補正予算により昨年の豪雨での災害復旧対応とし

て、アフトロマナイ川導流堤内、オチウシナイ川スリットダム及び砂防堰堤内の除石と、砂防施設の改良を実施する予定となっております。

宗谷森林管理署では、昨年の災害関連復旧事業として湾内・雄志忠内地区の法面崩壊箇所等の復旧及びヤマナイ沢河川内の排土・治山施設整備と、港町地区では継続で実施しております山腹工事、本泊・大磯地区では保育事業を予定しており、宗谷総合振興局林務課では、災害復旧対策として湾内地区の人家裏の法面復旧とヤマナイ沢治山施設内に堆積している土砂について海中流出防止対策としての排土を予定しております。

近年の集中豪雨の頻度、強度の増大等により山地災害や風水害が頻発するようになっており、災害防止対策（治山・砂防）が町民の生命・財産を守るうえで重要性が増しておりますので、関係機関に対して引き続き事業の推進について要望してまいります。

四. 住み慣れた地域で安心して生活できる環境の整備

新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の生活様式は一変するとともに、健康への影響はこれからも続くものと思われれます。人口の減少と高齢化が著しい本町は、医療・介護資源の少ない中、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できる環境を整

備していくことが課題であります。楽しみにしていた通いの場や外出の機会が減ったり、友人や離れて暮らす家族と気軽に会えなくなったりと、いつもと違う日常が続くと家にいる時間が長くなり、筋力や気持ちも低下してきます。このため、外出のための移動支援や通いの場のきつかけづくり、食生活へのサポートを社会福祉協議会と一体となって介護保険事業で実施してまいります。

また、介護保険料につきましては、四月から第八期介護保険事業計画が始まることから、策定委員会において二月二十四日に答申を得ることができ、計画期間であります令和三年度から令和五年度までの保険料の基準額は、人口の推移や介護サービス費用を考慮した保険料とし、条例の一部改正案を提案しておりますので、よろしくご審議願います。

介護サービス施設の運営にあたっては、新型コロナウイルス感染症の施設への侵入を防ぎ、利用者並びに職員を感染から守るため、感染防止対策に万全を期してまいります。

昨年、新たに開設した特別養護老人ホーム「秀峰園」では、ユニット型の



居室を設け、入居者が安心して生活を継続できるようスタッフに対し指導、徹底を図り、万全の態勢で臨みます。

また、平成八年開設のデイサービスセンターは、築後二十五年が経過し老朽化が激しいため、屋上防水をはじめ外壁塗装、内装改修及び電気設備等を含む大規模改修事業を行い、利用者の利便性向上に努めてまいります。

利尻島老人保健施設では、開設当初から使用していた各居室の電動ベッド二台を取り替え、厨房用備品として冷凍庫の更新とエアコンの新設を行い、利用者が快適に過ごせる環境の整備と安全に配慮した食事の提供に努めます。

駕泊診療所につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少がみられましたが、地域住民の健康を守る役割を担う診療所として、サービスの一層の向上を図るとともに、継続的かつ安定的な医療の提供に努めてまいります。

子育ての支援施策では、保育の無償化を継続するとともに保育環境の改善のため保育所のLED化を進め、令和三年度入所予定の五十二名の保育サービスの充実に取り組んでまいります。

健康づくりにつきましては、健康教育・健康相談体制を充実し、各種健康診査を実施するなど、総合的な保健サービスを提供してまいります。

生活習慣病対策では、すこやか健診の受診率向上を図るとともに、高齢者の社会参加を含むフレイル予防を視野

に入れた疾病予防と、重症化予防の取り組みをより一層推し進めるとともに、感染症予防対策としてインフルエンザ予防事業は例年同様秋頃から接種を始めますが、新型コロナウイルスワクチンの接種については、現在準備を進めている段階であり、実施体制を確保のうえ町民の皆様にご協力をお願いいたします。

母子保健対策では、疾病等の早期発見や育児支援のため、乳幼児健診や乳幼児相談などを実施するとともに、妊娠前から子育て期にわたる様々なニーズに対応し、安心して子育てができる支援体制を構築するなど、町民の健康づくりと健康寿命の延伸を目指してまいります。

老朽化が著しい駕泊墓苑（火葬場）については、地域懇談会での意見を踏まえ、鬼脇墓苑を含めて建設場所や規模、環境や社会状況の変化に応じた人生終焉の儀式的場にふさわしい改築計画とするための基本計画を進めます。

また、国のIT施策となるデジタル社会形成基本法を基に、行政サービスのオンライン化のためのマイナンバーカードの普及啓発については、各地区を巡回するなどの工夫を凝らしながら普及に努めてまいります。

五. 子供の学びを支え 健やかな心を育む教育の推進

本町の教育施策を推進するにあたり

では、総合教育会議により定めた「利尻富士町教育大綱」の三つの基本指針を軸として、教育政策の目標を掲げ、それぞれの施策を着実に実行していく所存であります。

本年度六年目となる「ふるさと教育体験事業」では、北海道エアシステム（HAC）のご協力により、五月二十七日に小学六年生を対象とした利尻島上空の遊覧飛行をATR機で計画しており、直接体験を通してふるさと利尻島への愛着や誇りを育み、ふるさと教育の充実に取り組んでまいります。

昨年度各学校へ整備した一人一台端末（タブレットPC）の有効活用及び学力向上対策のため、ICT教育活動補助金として予算計上しておりますのでご理解を賜りたいと存じます。また、新型コロナウイルス感染症防止対策として、国庫補助金（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業）や臨時交付金を活用しながら、冬期間における各学校の乾燥・湿度対策のため、三月補正において「加湿器購入費」を予算計上し、令和三年度へ繰越して整備を進めてまいります。

詳細につきましては、教育行政執行の内容も含め、このあと島谷教育長から申し述べますのでお聴きくださいたいと思っております。

地方創生関係について

令和三年度からの五ヶ年計画となる

「第二期利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定中であり、あわせて人口ビジョンの改定も行っておりますが、人口の減少速度がこの五年間で加速していることから、地方創生のより一層の取り組みにより人口減少を鈍化させるべく各項目において触れているものもありますが、出産支援事業や子ども医療費の無償化、結婚イベントとして「島コン」への助成や利尻高校生への通学支援金の給付等十一の事業に予算計上し、魅力ある地域づくりを促進してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症を契機に地方への関心が一層高まっており、テレワーク等の進展による働き方生き方、住まい方が大きく変わろうとしている中において、WEBサイトやSNS等による移住相談や情報発信の強化により定住促進の取り組みを進めるとともに、企業等民間力の活用に向けた取り組みの可能性を探ってまいります。

令和三年度財政運営について

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づく四つの指標はすべて国の基準をクリアしています。

これからご審議頂きます令和三年度の予算は、本町の厳しい財政状況の中で限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民の暮らしを守ることに

を念頭に予算編成を行ったところであり
ります。

その内、建設事業費は、一般会計・特別会計合わせて五億三千九百二十七万円となり、前年度対比では特別養護老人ホーム建設事業が完成したこともあり介護サービス特別会計で大幅な減額となっておりませんが、町道改良や公営住宅個別改善工事のほか、利尻漁協が行うヒラメ畜養施設の海水冷却装置整備のため道補助金採択に尽力するなど、地域の雇用、経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、町民の働く場をしっかりと確保します。

また、不足する財源を補うために基金を取り崩し充てることとしており、

そのうち、全国各地の皆様からのご厚意により寄せられている「ふるさと応援寄附金」の二億五千万円を有効に活用すべく三十七の事業に充当いたします。

その結果、一般会計の予算規模は四十二億五千九百七十万円とし、対前年度比では一億九千四百四十万円増、率で四・八%の増額予算となっています。

また、簡易水道事業特別会計ほか九つの特別会計の合計で十九億千三百三十四万円。一般会計・特別会計を合わせた総額では六十一億七千四百四十万円となり、前年度対比十六・九%減で、七年ぶりの減額予算となりました。

以上、令和三年度の町政執行に対する私の所信の一端と、主要な施策を申

し述べましたが、コロナ禍で不要不急な外出、会食や懇親の場の抑制を強いられ、魚佃安や観光業の打撃を受けていることに町の基幹産業が危機迫る状態に陥っている中、コロナ禍以前の経済活動を取り戻すため町民皆様から声を聴き、経済対策に全力を傾注する所存であります。

冒頭でも触れましたが、私が町長に就任して二期目の纏めとして、就任当時から提唱している「町民が主役のまちづくり」を基本理念として、皆様から頂いた要望や意見等に誠意をもって力の限りを傾注し、「ふるさとを魅力あふれる宝の島に」を将来像に据え、恵まれた自然と協調する優しく快適な生

活環境づくり、誰もが安心して暮らせる地域社会の構築、躍動感に満ちた産業振興を目指し、「悠(はるか)なる故郷(ふるさと)利尻富士町」が魅力あふれるまちづくりを念頭に置き、計画に沿った諸施策をしっかりと実行し、各分野、各関係者が一丸となって町のさらなる飛躍に向け、利尻富士町の先頭に立って町政運営に取り組んでいく所存でありますので、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援とご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

とさせていただきます。

令和3年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名	事業費	
総務費	公共施設等総合管理計画改定業務	3,190
	コミュニティー広場遊具設置工事	2,211
	土地購入費	2,113
	自治会館等整備事業補助金	2,657
	庁舎中央監視装置取替工事	15,000
	サウナ室改修工事	1,312
	貯湯槽改修工事	2,000
	戸籍総合システム購入費	6,152
	計	34,635
民生費	保育所照明LED化整備工事	3,078
	計	3,078
衛生費	火葬炉補修工事	1,595
	葬苑建設基本計画策定業務委託	2,500
	計	4,095
農林水産業費	流水区域調査業務委託	3,000
	小規模治山事業	15,000
	離島漁業再生支援交付金	44,012
	海岸漂着物処理業務委託料	6,000
	漁業施設整備事業補助金	12,500
	特定有人国境離島漁村支援交付金	25,058
	計	105,570
土木費	町道改良工事(鴛泊中央線)	60,000
	町道改良工事(鴛泊市街3号線)	30,000
	町道補修工事(姫沼線)	3,500
	利尻富士町橋梁点検負担金	3,000
	鴛泊除雪センター外壁改修工事	15,000
	鴛泊港整備事業負担金	64,000
	公営住宅個別改善工事	77,300
	飛行場標識施設補修工事	2,000
	ショルダークラック補修工事	1,000
	ローカライザー前方域樹木伐採工事	1,914
	計	257,714
	消防費	光ケーブル移設工事
計		1,000
教育費	乗用草刈機	3,289
	鴛泊中学校受変電設備更新工事	7,989
	計	11,278
合計	417,370	

令和3年度 教育行政 執行方針



令和三年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、教育行政の執行に関する方針を申し上げ、議員各位並びに町民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

近年の教育行政を取り巻く環境及び社会情勢が急激に変化する時代の中で、子供たち一人一人が自分の良さや可能性を認識するとともに、学習意欲や人権感覚を持ち、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人間性、健やかな体を備え、主体的に行動できるよう、その資質・能力を育成することが求められています。未来を担う子供たちが、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、教育委員会といたしましては「利尻富士町教育目

標」に掲げた基本理念のもと、「利尻富士町教育大綱」に掲げる三つの具体的な基本指針を柱とした諸施策に、積極的に取り組んでまいります。それでは、令和三年度における各分野の主な施策について申し上げます。

一、未来を生き抜く子供の育成

教育の役割は、子供たちが夢や希望を持ち、自分の未来を切り拓いて生き抜いていけるよう、基礎的・基本的な知識や技能等を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力や学習意欲の向上が図られる取組みの実現にあります。

このため、学校・家庭・地域・関係機関が連携、協働し「確かな学力」「健康な体」「豊かな心」を育み、子供たちが主体的に判断し行動できる「力」を育む教育を推進します。

① 「確かな学力の育成を目指す教育の推進」

新学習指導要領を踏まえた教育課程の編成や実施・評価・改善に取組み、児童生徒一人一人の学習進度に応じた「個別最適な学び」と社会につながる「協働的な学び」を進めてまいります。また、GIGAスクール構想で導入した一人一台のタブレット端末などICTを活用した教育については、教職員によって積極的に研究が進められ、学校と家庭、学校と学校を結んだオン

ライン授業の構築が図られるとともに、各教科等においてICTの特性や利点を生かした授業内容の充実に取り組んでいます。

新年度では、「ICT教育活動補助金」を計上し、これらの取組みを進化させ、児童生徒一人一人の習熟度に合わせた効果的・効率的な学習を提供する、人工知能型教材「Qubena（キューベナ）」の導入を図るとともに、デジタル教科書の活用研究にも取り組んでまいります。

② 「特別支援教育の推進」

特別支援教育においては、一人一人の特性や教育的ニーズに応じた適切な指導や支援体制の充実を図ってまいります。

特別支援学級は、篤泊小学校三学級、利尻小学校二学級、篤泊中学校一学級の六学級体制となり、並行して、特別支援教育支援員を篤泊・利尻の各小学校に配置し、教職員を補助し協力して児童生徒の支援に取り組んでまいります。

③ 「へき地・複式教育の推進」

児童生徒数が減少傾向にあり、近い将来、複式学級が増加することも予想されています。子供同士による学び合いや高め合いなど、他者との触れ合いを大切にしながら多様な学習活動の工夫や個に応じた指導の充実を図っていくなど少人数の特性を生かし、一人一人を

伸ばすへき地・複式教育を推進してまいります。

④ 「国際理解教育の推進」

交通手段の発達や情報化の進展に伴って、経済、社会、文化等の様々な面で国際交流が盛んになっています。国際社会において主体的に行動できる資質・能力を育成するため、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の素地を養います。また、外国語指導助手（ALT）による指導や外国語に親しむ機会の充実に努めてまいります。

⑤ 「情報・環境・産業・キャリア教育の推進」

現在、温暖化や自然破壊など地球環境の悪化が深刻化し、環境問題への対応が重要な課題となっています。人々の生活や自然環境との関連性に目を向けさせ、豊かな自然を守っていくこととする意欲や態度の育成と指導の充実を図ります。

また、情報技術を手段として学習等に活用できるよう指導の充実と学習支援の研究促進、地域や産業界の協力の下、外部人材による講話や体験学習、職場体験など地域と連携した産業教育やキャリア教育の充実に取り組んでまいります。

⑥ 「道徳教育やふるさと教育などの取り組み」

一人一人が、人としての生き方や社会の在り方について多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ考え、他者と対話し協働しながらより良い方向を目指す資質や能力を育てるなど、道徳教育の充実に取り組みでまいります。

また、地域の自然や歴史、文化、産業、行事などを活用した教育活動に取り組めます。その一環として「ふるさと教育体験事業」による利尻島上空の遊覧飛行の実施など、ふるさとへの愛着や誇りを育むとともに、地域社会の一員としてまちづくりにかかわる人材の育成など、ふるさと教育の充実に取り組んでまいります。

いじめ防止や不登校児童生徒への支援のため、日常から児童生徒と教職員の信頼関係の醸成と児童生徒が互いに伸び伸びできる人間関係の構築に取り組みでまいります。

⑦ 「豊かな人生の基盤となる体の育成」

豊かな人生を送る基盤として、体力・運動能力は健康の維持や精神面の充実などに関わる大切なものです。

児童生徒が運動やスポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かに実践していくことができるよう、体育・保健に関する一層の充実や、家庭・地域と連携した取組みを進めてまいります。

かたや、栄養摂取の偏りや朝食欠食

といった食習慣の乱れによって、肥満や生活習慣病、食物アレルギー疾患等の増加など、健康課題は多様化していることから、学校・家庭・地域が連携協働して社会全体で食育活動や健康づくりに取り組んでまいります。

二. 子供の学びを支える教育環境の整備と支援の推進

子供たちの健やかな成長を促すためには、安心して学べる場と安全な教育環境の整備が重要です。

このため、町が有する教育施設や設備等をより効果的に活用するとともに、社会の変化に対応した教育施設や設備を計画的に整備して、安心・安全で質の高い教育環境の充実を図ります。

① 「学校施設・設備の充実」

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であると同時に、災害時は地域の避難所としての機能を備えていることから、その安全性や設備の維持に努めてまいります。

また、学校施設は障害のある児童生徒が安心して支障のない学校生活を送れることと、災害時における指定避難所など地域コミュニティとしての役割を担うため、施設のバリアフリー化を推進するよう国から求められており、整備について検討を始めてまいります。

② 「学校運営の改善」

よりよい社会を通して、よりよい社会を創るという理念を学校と地域が共有し、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのか目標を明確にしながら、学校経営ビジョンに基づいた教育活動の推進を図ってまいります。

③ 「学校段階間の連携・接続の推進」

社会の目まぐるしい変化や子供たちの心身発達の早期化などに対応し、児童生徒個々の能力を十分に引き出すことや、小学校から中学校に進学する際の子供が感じる段差に対し、その間の接続をより円滑なものとするため、義務教育九年間の系統性・連続性に配慮した教育課程や、地域や学校、児童生徒に適した小中一貫教育への構想につ



いて、地域や学校、保護者等と検討を始めてまいります。

④ 「教職員の資質・能力の向上」

学校教育を取り巻く環境の変化や各学校における教育課題を受け止め、児童生徒の実態に即した研修活動を継続的・計画的に実践し、児童生徒の学力の実態を踏まえた研修活動の積み上げを日常的に進めてまいります。

また、これからの学校教育を支える必要不可欠なツールとなったICTの活用研究を始め、学校や教職員が取り組む教育研究や校務の効率化等を支援してまいります。

三. 生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興

多様化する学びの時代を迎え、町民が心豊かで生きがいのある生活を送るためには、趣味や教養、スポーツ、交流活動など自己実現のための時間を持つとともに、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かせる環境が必要です。

このため、町民一人一人が豊かに学び、文化やスポーツを楽しむ環境を整えらるとともに、その活動や地域の担い手育成を支援するために、効果的な事業の推進に努めます。

① 「生涯学習の推進」

学校教育、社会教育、文化活動、ス



スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、趣味など多様な学習機会を通じて、町民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送れるよう生涯学習社会の実現に向けた取り組みを推進いたします。

また、公民館や社会教育施設等の既存施設の効率的な活用を推進し、町民が利用しやすい環境整備を図ってまいります。

② 「青少年の健全育成」

青少年の心と体の健全な育成を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、多様な学習活動・体験活動を経験できる機会の創出を図ります。

学校・家庭・地域の連携を図りなが

ら、子供たちの放課後の安全・安心な居場所づくりと体験活動を通じた「放課後子ども教室事業」を継続実施します。具体的には、放課後や振替日・長期休業中に行なっている平日・一日ふじっ子教室、週末や休日にはバドミントン教室・水泳教室など、地域全体で子育てを推進する仕組みづくりに取り組めます。

さらに、利尻富士町青少年健全育成町民会議と連携し、夏休み・冬休みなどの長期休業時に、北海道教育大学旭川校や利尻高校の協力のもと「チャレンジ教室」を計画いたします。

また、スポーツや文化活動を通じて、青少年育成に寄与している団体に対して、負担のかかる島外遠征等への支援について、取り組めます。

③ 「文化・芸術活動の推進および文化遺産の保存と活用の推進」

心のゆとりや潤いに繋がる文化・芸術活動は人生の生きがいとなり、生涯学習社会の中で果たす役割は重要です。地域に根差した文化・芸術活動について、連携した支援を行なうことで、文化・芸術の醸成や担い手の育成を推進します。

また、まちの歴史を伝える様々な文化遺産の保全に努めるとともに、調査による掘り起こし、まちの歴史を物語る資料の収集整理をし、町外の博物館等と連携した展示や講座など普及活動にも積極的に取り組んでまいります。



④ 「スポーツ活動の推進」

町民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しむことができる活動機会の提供及び生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を推進するとともに、町内スポーツ少年団や町体育協会の活動に対する支援、地域におけるスポーツ推進の中核的な役割を担う指導者の育成、各種スポーツ大会やイベントに対する支援を実施します。

また、社会体育施設についても、将来を見据えた適正な管理是正を図り、学校開放や既存施設の利用を積極的に取り入れながらスポーツに親しむ活動機会の提供に取り組んでまいります。

教育委員会について

以上、令和三年度の教育行政執行方針を申し述べましたが、令和三年一月二十六日に中央教育審議会から文部科学大臣に答申された「令和の日本型学校教育」の構築を目指して「〈全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現〉」では、急激に変化する社会状況を見据えた改革の方向性と、今後進めるべき具体的な取組みが示されました。

新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、どのように社会や生活が変化していくのか予想が難しい時ではあります。教育委員会としては、この答申の具体化に向けた動向に対応していくとともに、利尻富士町教育目標及び教育大綱に掲げた、本町が目指すべき基本理念及び基本方針に基づく各施策を学校・家庭・地域・関係機関と連携のうえ、しっかりと実行してまいりますので、町民の皆様並びに町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



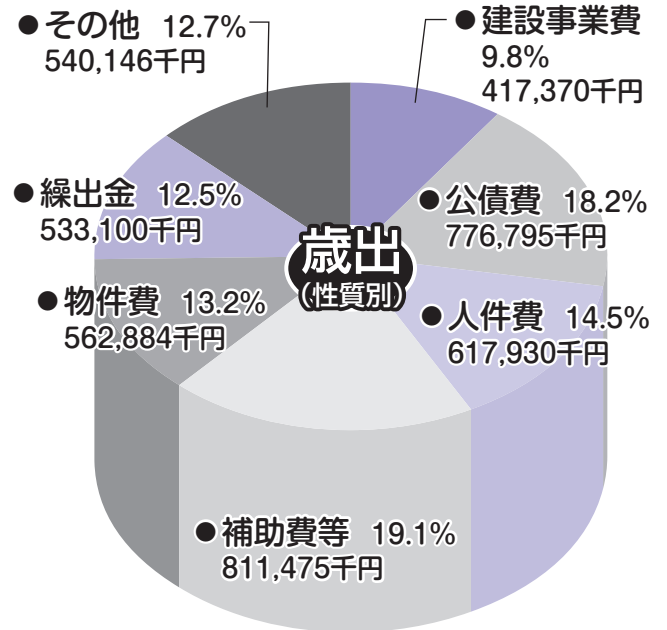
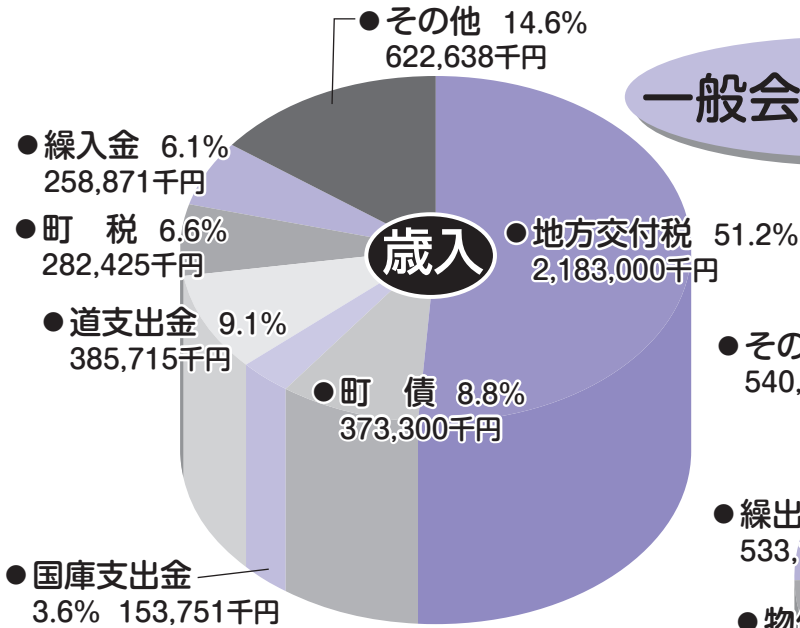
一般会計の歳入・歳出予算額は…

42億5,970万円

令和3年度の当初予算額は、前年度比4.8%の増となっております。特別会計の合計19億1,133万9千円と合わせた町の予算総額は61億7,103万9千円で、令和2年度当初予算と比較すると、約16.9%（12億5,215万1千円）の減額となっております。

令和3年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算

単位：千円

	令和3年度	令和2年度	比較
簡易水道事業特別会計	75,343	69,911	7.8%
下水道事業特別会計	250,536	205,840	21.7%
港湾整備事業特別会計	65,348	93,509	△ 30.1%
温泉事業特別会計	64,821	59,765	8.5%
国保事業特別会計	402,034	421,299	△ 4.6%
後期高齢者医療特別会計	50,172	55,059	△ 8.9%
介護保険事業特別会計	337,701	335,500	0.7%
介護サービス特別会計	546,944	1,969,969	△ 72.2%
歯科施設特別会計	46,490	70,090	△ 33.7%
国保施設特別会計	71,950	76,948	△ 6.5%
合計	1,911,339	3,357,890	△ 43.1%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	44,746
総務費	633,847
民生費	498,642
衛生費	315,057
労働費	84
農林水産業費	167,183
商工費	201,738
土木費	859,451
消防費	230,612
教育費	246,603
地方創生費	20,349
公債費	776,795
諸支出金	261,592
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	4,259,700

わがまち
タイムスりっぷ

連載^{⑤④}

里帰りした初代鷺泊灯台の灯器

鷺泊灯台は、利尻礼文両島初の灯台として1892（明治25）年12月15日に点灯されました。初代灯台は、切石を積み上げた円形の石造りでした。

その初代灯台で使われていた灯器は、役目を終えたのち旧交通博物館に展示されていましたが、同館の移転に伴い燈光会に保管されていました。昨年、北海道市町村振興協会の助成事業により、開町140周年を機に里帰りし、現在カルチャーセンターにて展示公開されています。

この灯器は、1892年にフランスのソーターハーレー社で製造されたものです。第六等閃光レンズで、台輪の上にレンズを載せて回転させる仕組みである^{てんろくしき}転轆式回転機械が付属しています。当初の動力は、石油ランプを使い錘が下がる力で回転させていましたが、1923（大正12）年に自家発電装置により点灯するようになりました。

全国的にみても、明治時代のレンズと回転機械が間近で見られるのは珍しいとのことですので、ぜひ町民の皆さんもご覧ください。



左：初代鷺泊灯台（○が灯器）、右：展示中の灯器

記事に対するご意見、灯台の情報など、教育委員会 山谷 ☎82-1370までお寄せください。

保健師だより

総合保健福祉センター



新型コロナワクチン接種は必要ですか？

当町では、高齢者の方から新型コロナワクチン接種が始まっています。

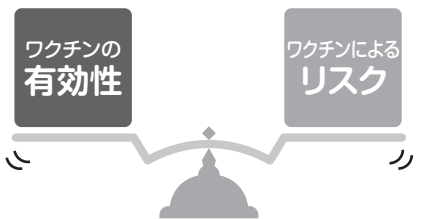
新型コロナワクチンをめぐっては多くの情報が飛び交っており、接種すべきかどうか迷う方もいます。

新型コロナワクチンは開発スピードが速かったため、長期的な有効性や安全性の点ではまだ不明な点もあります。しかし、新型コロナウイルス感染による重症化などのリスクを考えると、副反応が出ることはあるものの、ワクチン接種で発症を防ぐメリットの方が大きいと言われています。ワクチンを接種しない場合は、感染のリスクはそのままです。

一人ひとりがワクチンの利益とリスクを知り判断することが大切です。

自分だけでなく、家族や周囲を守るために接種を検討していただきたいと思います。

今後のスケジュール等については、随時お知らせ利尻富士に掲載いたしますのでご覧ください。



【お問い合わせ】 総合保健福祉センター ☎82-2320

地域おこし協力隊通信 vol.9

現在、利尻富士町の地域おこし協力隊として4名が着任しております。
今回はその中の一人、移住定住コーディネーターの梅村隊員について活動報告をさせていただきます。

協力隊の梅村です。今年度より、利尻富士町の移住ポータルサイトを開設しました。今までなかなかネットで町の情報を探すのが難しく、私自身も移住した一人として島に興味のある方が必要な情報が見られるサイトがあればと思っていたので、今後島への移住を検討している方にとって役立つものになったのではないかと思います。

ポータルサイトでは、仕事・住まいなどの情報や、町に移住された方へのインタビューなどを掲載するほか、オンライン移住相談への窓口にもなっています。これを機に町への移住希望者が増えることに繋がれば嬉しいです。

しかし、まだまだ空き家情報や求人情報などが不足している現状です。町民の方からの掲載可能な求人情報（短期間の出面なども）空き家、空き地情報などがありましたらお知らせいただければと思います。



地域おこし協力隊隊員
梅村 みゆき

●利尻富士町移住ポータルサイト

島への移住を検討されている方向けのポータルサイトです。
〈URL〉 <https://rishirifujikurashi.jp/>

●移住定住支援Instagram

島の食べ物や風景の写真、島暮らしの中で体感した「島あるある」などを投稿しています。
〈URL〉 https://www.instagram.com/rishirifuji_shimagurashi/

Facebookで活動状況掲載中☆



定期的に活動状態や利尻富士町のイベントについて、投稿しています。

ぜひ、 ボタンを押してくださいね♪

〈りしり富士：地域おこし協力隊URL〉

[https://www.facebook.com/](https://www.facebook.com/rishirifuji.town.supporters)

[rishirifuji.town.supporters](https://www.facebook.com/rishirifuji.town.supporters)

交通事故死ゼロ1,500日達成!!

4月20日、町内における交通事故死ゼロ連続記録が1,500日を達成しました。

これを受け、北海道交通安全推進委員会から利尻富士町交通安全推進協議会に感謝状が贈られました。

感謝状の伝達は当初、4月30日に北海道宗谷総合振興局長の辻井宏文氏が来島して執り行う予定でしたがフェリーが一部欠航したため中止となりました。

町では、2017年3月以来、死亡交通事故の発生は無く、管内では現在、利尻町・礼文町・幌延町に次ぐ4番目の記録となっております。

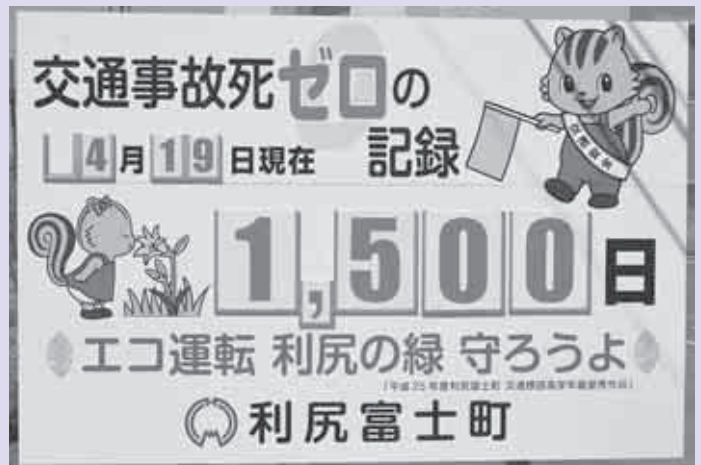
今後も交通安全運動を通じ、交通事故死ゼロの継続に向けて住民と一丸となって次の目標である2,000日の記録につなげたいと考えております。



●交通安全運動の取組について

利尻富士町交通安全推進協議会は、春の交通安全運動期間（4月6日～4月15日）の取組として交通事故死ゼロ1,500日達成の5日前である4月15日に鶯泊地区（旧ホテルソレイユ前）・鬼脇地区（福祉の家前）にて特別啓発運動を実施し、利尻富士町交通安全協会・駐在所・鶯泊保育所・鬼脇保育所・商工会など、各団体と連携した旗波作戦を展開しました。

道々沿いにて旗やのぼりを立て、通行中のドライバーに対し安全運転の呼びかけから交通安全の意識高揚に努めました。





新就職者紹介

- ①出身地 ②配属先
- ③趣味・特技
- ④今後の抱負



いわ き しょう き
岩木翔輝さん

- ①利尻富士町 ②利尻富士町役場 総務課 財政係 ③読書、ゲーム
- ④利尻富士町役場に勤めて、2か月が経ちましたが、やっと自分が社会人になったという事を自覚してきました。ですが職員としては未熟者なので、これから出来る事を増やし、知らない事を減らしていき、頼りになる様な役場職員になりたいと思います。時間はかかるかもしれませんが、よろしくお願いします。



きし もと りゅう せい
岸本龍世さん

- ①利尻富士町 ②利尻富士町役場 企画政策課 企画調整係
- ③競馬観戦(賭けてないです)、昭和歌謡を聴くこと
- ④役場で働き始めてから、すでに2か月が経ち、少しずつ出来ることが増えてきましたが、まだまだ分からないことだらけです。いろいろな場面で町民の皆様から声を掛けていただけるのがとても励みになっているので、町民の皆様のためにも一生懸命仕事を覚えて、頼れる役場職員になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



おお くま しゅん すけ
大熊駿佑さん

- ①群馬県 ②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 警防係 ③サッカー、バイク、音楽鑑賞
- ④自分は北海道や島での生活が初めてです。故に、当初は地元での生活と違う部分に苦しい思いをすることもありました。しかし、職場や住民の方たちが親切にいろいろなことを教えてくれるので、自分も沢山のことを学んでおります。今の実力では住民の方々や島に貢献できる部分は少ないと思っておりますので、自分にできることを確実にやっていきます。救命士の資格を取ってから3年が経ち、知識や技術も日々薄れていると感じているので、消防職員としてと同時に救急救命士として職務につけるよう努力します。



おお やま りゅうの すけ
大山龍之介さん

- ①兵庫県 ②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 予防係兼警防係
- ③スキー、トレイルランニング、編み物
- ④この度、消防署利尻富士支署に配属となりました大山龍之介と申します。新天地、新職務となり色々和不慣れな事が多いと思いますが、1歩1歩地域に、そして職務に慣れ、励みますので、よろしくお願い致します。



まつ だ ゆう き
松田勇輝さん

- ①神奈川県 ②利尻島老人保健施設 看護師 ③ランニング、深海魚の研究
- ④平成30年1月～平成31年1月の1年間、応援ナースとして老健で働いていました。利尻の環境と思い出がとても良かったので、今回また働かせていただくことになりました。老健の皆様が安心して療養できるよう、良いケアの提供に努めていきます。

警察官紹介



みや ざき ゆう すけ
鴛泊駐在所 所長 宮崎友輔さん

この春航空隊から異動となり、鴛泊駐在所で勤務させて頂くこととなりました。千歳市出身の37歳で5歳と3歳の息子がおります。

以前、利尻島に来たことがあり、その時からこの素晴らしい自然環境の中で勤務してみたいと、この島の勤務を希望しておりました。町民の皆様への安心・安全を守れるよう努力していきますので、家族共々よろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症対策の取組み

経済対策



利尻富士町では、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため町独自の支援対策を実施します。

また、下記以外にも経済対策や感染症対策を随時実施していきます。

●利尻富士町感染者家族支援事業

保健所から濃厚接触者として健康観察を指示された期間に家族との自主隔離を目的に宿泊施設等に宿泊した代金の半額を助成します。(1泊5,000円を限度とし、最大14泊分)

●利尻富士町宿泊事業者感染予防対策支援事業補助金

町内宿泊業における、感染症に対する強靱な体制を構築することを目的に、町内宿泊事業者が行う感染症の予防に関する衛生管理対策に必要な施設改修及び機械、器具、備品等の導入費について最大100万円補助金を交付します。

●利尻富士町新型コロナウイルス感染症検査費用助成事業

宿泊業や飲食業を営む事業者及びその従業員の方々は、不特定多数の方と接触する機会が多く、また食事等マスクを外す場面で接客する場面も多いことから、町では新型コロナウイルス感染症を疑う症状のない方が、新型コロナウイルス感染症の診断のため、購入した抗原検査キットの費用について1検体当たり1,000円を限度とし助成します。(百円未満切り捨て) ※検体の個数は検査対象者の3回分を上限とします。

●利尻富士町経営持続化特別支援金事業

コロナ禍の影響で前年度の売上げが50%以上落ち込んだ事業者に対し、北海道が行う「特別支援金」の対象となり、給付が決定された事業者を対象に、町から特別支援金として10万円を上乗せ支給します。

ベイベートーク

4人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



【両親】久典・明日香
【住所】富士岬

こんにちは、朔太郎(さくたろう)です。抱っこが大好きな甘えん坊でパパとお風呂に入るとご機嫌になります。泣くとお兄ちゃんの変な歌をうたってくれるからびっくりして泣き止んじゃう。

にこにご笑顔で津崎家の癒し系です☆ よろしくをお願いします!

つぎさくたろう
津崎朔太郎くん

R3. 3. 7 生



【両親】雄二・梢
【住所】富士野

僕の名前はいちかって言うんだ!!みんなよろしくね♡最近お喋りが上手にできる様になったんだ!!お話を聞いてタイミング良く相槌を打てる時もあるんだよ!!みんな僕とお喋りしよーよ!!

たかはし いちか
高橋一葉くん

R3. 4. 4 生



【両親】奎佑・百花
【住所】栄町2

はじめまして。ぼくの名前はとうま!毎日パパとママから愛情たっぷりもらって元気に成長してるの!いつかパパを抜かしちゃうんだから♡みんなからはママ似だねって言われるよ!街で見かけたら声かけてね!これからよろしく!

かわばた とうま
河端柊磨くん

R3. 4. 5 生



【両親】一志・美緒
【住所】栄町2

はじめまして。綿谷家長女のしゅりです。私にはとってもうるさ…じゃなくて(笑)とっても陽気なお兄ちゃんがいるので、面白い踊りを見せてくれたり、「めんこちゃん♡」と言いながらチューやギターをしてくれます。早くお兄ちゃんとお出かけしたいな!家族共々よろしくね!

わたや しゅり
綿谷珠李ちゃん

R3. 4. 21 生

地域おこし協力隊員を紹介するよ～♪



鈴木太郎さん

【出身地】神奈川県

【担当業務】栽培漁業、その他水産業に関わること

【趣味・特技】スキューバダイビング、スキー、バイク

【今後の抱負】

- ・現在栽培漁業を行っている生物の生態を学び、漁獲高をあげたい。
- ・海洋調査を行い、海底の地形・生態の把握をしたい。
- ・PADIのIDC（インストラクターライセンス）を取得し、ファンダイビングの楽しさを広めたい。

戸籍の窓口

★お誕生おめでとうございます★

保護者	続柄	氏名	月日	住所
津崎 久典・明日香 様	長男	朔太郎（さくたろう）くん	R3.3.7	富士岬
高橋 雄二・梢 様	長男	一 叶（いちか）くん	R3.4.4	富士野
河端 奎佑・百花 様	長男	柊 磨（とうま）くん	R3.4.5	栄町2
綿谷 一志・美 緒 様	長女	珠 李（しゅり）ちゃん	R3.4.21	栄町2

♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所	月日	氏名	住所
R 2.12.28	津崎 久典 様	栄町1	R 3.2.9	味噌 真人 様	大 磯
	池田明日香 様	札幌市		齋藤 未来 様	大 磯

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
藏重 キワ 様	R 2.12.12	101歳	鬼脇 1	吉田吉太郎 様	R 2.12.13	93歳	野 中
新谷さい子 様	R 2.12.16	86歳	鯉 泊	三浦 フサ 様	R 2.12.17	85歳	南 浜
島谷 義昭 様	R 2.12.24	88歳	旭 浜	澤田 一彦 様	R 2.12.29	63歳	野 中
嶋田 アキ 様	R 3.1.1	97歳	栄町2	吉田 秀雄 様	R 3.1.3	81歳	鬼脇 1
西垣 隆子 様	R 3.1.3	72歳	鬼脇 2	山田 豊 様	R 3.1.15	79歳	栄町2
兵庫 潔 様	R 3.1.18	77歳	野 塚	石垣千枝子 様	R 3.1.30	87歳	野 中
後藤 吉春 様	R 3.2.22	79歳	港 町	佐藤千恵子 様	R 3.3.11	79歳	本 町
船橋 和保 様	R 3.3.16	85歳	旭 浜				

編集後記

6月に入り、利尻にも夏の到来を感じられる時期となりました。

町内では4月20日に交通事故死ゼロ継続日数が1,500日を達成することができました。

今後も交通事故死ゼロを心がけ無事故・無違反で交通安全に努められますようお願いいたします！

それでは、次回9月号でお会いできるのを楽しみにしております。

人口のうごき (令和3年5月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	814	855	1,669	835
鬼脇	339	364	703	420
合計	1,153	1,219	2,372	1,255